

HOP, STEP, JUMP in 標津

萌える海と大地 さわやか交流郷

10

No.452/2004

広報しべつ



「めっちゃ、
おもしろい！」

町エコ・ツーリズム交流推進協議会の働きかけで、今年も京都府・聖母学院小学校五年生百五十六人が修学旅行で来町し、本町に四泊五日の日程で滞在。サケの水揚げや農場を見学したほか、サケ・マス釣り、イクラ作り、いも掘り、乗馬などを体験。忠類川でのサケ・マス釣りでは、大物のカラフトマスを釣り上げ、「めっちゃ、おもしろい」と大喜びの児童（写真）。食事はサケやホタテ料理など地元食材に満足していた様子でした。

「郷土再生に向けた自立プランへの取り組みを進めましょう！」

本

町では平成十六年度のまちづくりの最重要姿勢として、「郷土再生に向けた自立プランの取り組み」を進めています。

この取り組みは、町民、町内各団体や企業などそれぞれが身の回りのちよつとしたことに目を向けて、地域の現実を自覚することから始まります。その上で経済の基本となる人口の増加や地域経済の活性化に向けて何ができるかを模索し、具体的に行動(実践)していくというものです。

町民一人ひとりがプランナーであり、町民だれもが参加できるまちづくりへの取り組みです。今一度、町を再認識し、愛町の精神をもってさらなる標準町の前進に取り組んでいくことが重要であり、こ

れは現代の私たちに課された使命です。

将来とも活力ある地域として存続していくことが、まちづくりを進める上で重要であり、このための施策を展開していかなければなりません。



これまでに寄せられた提案は102件

この取り組みに向けて寄せられた提案は、これまでに町職員から九十三件、町民から九件となっております。

町職員の提案は、職員検討会議(二十人)で十の大分類、四十三の事業内容に区分し検討。最終的には十六事業を重点に直ちに実践する事業として選定しています。詳しくは、「P3」の表をご覧ください。

すでに実践した事例の一つとしては、「ウラップ伝説」

の紙芝居作成などがあります(下記の記事参照)。

また町民からは、サケ料理の持ち寄り会(我が家のサケ料理)などの開催による「サケの有効活用と利用促進」や、廃校した学校を例えば夏休みや家族単位で、あるいは高齢者などを対象にした「短期宿泊体験」を実施する「廃校の有効活用」などが提案。今後、「町職員検討会議」で検討し、前者同様に直ちに実践できるものを選定していきます。

皆さんからの提案を

お寄せください

町民の皆さんがまちづくりの主人公です。この取り組みへの皆さんからの提案やご意見をお待ちしています。

提案され実践した事例

祭りへの感心を高めようとして「ウラップ伝説」の紙芝居作成



「郷土再生に向けた自立プランへの取り組み」への町職員からの提案で実践された事例として、「ウラップ伝説」の紙芝居の作成があります。

郷土の姿を活用した子供たちへのふるさと学習の推進が目的。標準町民祭り「水・キラリ」の伝承劇の題材になっている「ウラップ伝説」の紙芝居を通して、子供たちに祭りへの感心を高めてもらうというねらいがあります。

※関連記事「P6」に掲載

行政への提案が望ましいと思われるテーマについては、地域担当職員やお近くの町職員へまたは電話でも結構です。提案にあたり、まちづくりに関する資料などが必要な方はお気軽にお問い合わせください。

職員提案による「郷土再生に向けた自立プランへの取り組み」の実践

重点的に推進する事業

(※下線は実施済の事業)

A
町民・町内事業者
に働きかけを
する事業

<消費拡大に向けた取り組み>

- 1 地元購買の推進
 - ① 地元での挙式の推進と冠婚葬祭等のお返し物の地元購買の推進
 - ② 職場の宴会を町内で実施(このためのサービスの充実を図る。例:献立表、送迎、2次会セット等)

B
町と町民・町内
事業者が連携し
て取り組む事業

<産業振興・企業誘致の推進>

- 2 調整保管機能と水産系廃棄物処理機能の連携による「水産資源高度利用活性化」の取り組み
 - ③ 調整保管庫の整備による年間稼働の水産加工体制の確立と水産系廃棄物のリサイクル推進
- 3 標津産サケを活用したペットフード製造企業の誘致
 - ④ 標津産サケの安全性、栄養性、機能性を活かした特色あるペットフード製造企業の誘致

C
町が自ら実施す
る事業

<観光・交流の推進>

- 4 エコ・ツーリズム事業の推進
 - ⑤ エコ・ツーリズムの活性化(取り組みの強化)
- 5 観光PR事業の推進
 - ⑥ 全職員によるセールス活動の実践(名刺等)

<地域学習と郷土愛の推進>

- 6 ふるさと学習の推進
 - ⑦ 水・キラリや伝説、郷土の姿を活用した紙芝居、絵本、カルタ等の作成による郷土愛の醸成
- 7 ふるさと再認識の推進
 - ⑧ 郷土の姿を知る資料の作成と活用

<定住・宅地造成の推進>

- 8 宅地提供による定住の促進
 - ⑨ 町有の遊休宅地の斡旋・分譲・住宅整備
 - ⑩ 市街地拡大計画の推進(移住者への宅地提供)
 - ⑪ 標津西部地区の分譲推進(民間と連携)
 - ⑫ 望ヶ丘団地未利用土地の有効活用による宅地提供
 - ⑬ 定年者への宅地・菜園地の提供
- 9 町内宅地・住宅情報の提供斡旋等による定住者支援
 - ⑭ 土地地購入、住宅建設に係る斡旋、相談窓口の設置
 - ⑮ インターネットによる町内居住スペースの紹介
- 10 町外通勤者の実態把握による定住対策の検討
 - ⑯ 町外からの通勤者が多くなっていることの原因調査による定住対策の検討

提案絞込みまでの経過

93件の提案



10の大分類、43の事業内容に区分し検討



10区分、16事業を重点的に直ちに実践する事業として選定

下さい。
なお、提案以外にも身近な活動として、例えば、①イベントに積極的に参加・協力する②できるだけ町内で買い物

をするなど、自分たちの足元を見つめて行動するということが大切です。
「郷土を愛する」をまちづくりの基本として、町民の皆

さん自らがいろいろと考えて実践していくことが重要であり、そういった意識をもって地道にできることから取り組んでいきたいと思います。

★「郷土再生に向けた自立プランへの取り組み」に関する提案やご意見、お問い合わせは、企画振興課(担当/滝本・山口・高橋)まで。

初の全国大会へ

少林寺／全道小学、中学の部で準優勝



八月二十二日、第二十五

入れました。

回少林寺拳法北海道大会が札幌市で開かれ、少林寺拳法北海道標準支部(稲村徳弥支部長)が出場。小学生と中学生がそれぞれの団体の部でそろって準優勝し、初の全国大会出場権を手に

くん(同)、吉田紘基くん(同)、小松駿くん(同)の八人が出場。中学生の部には、山口一馬くん(標準津三年)、長沼翔太くん(同)、稲村果歩さん(同二年)、長谷川聡美さん(同)、荒木啓佑くん(同)、笹木惇志くん(同)、佐々木結さん(同)の七人が出場。僅差で優勝を逃したものの、堂々の準優勝に輝きました。

さらに、一般単独女子初二段の部で稲村いづみさん(中標準高二年)が見事優勝。規定小学生七級の部で尾田拳将くん(標準小四年)・今帆奈美さん(同組)が準優勝。同部で本村琴奈さん(標準小四年)・尾田竜都くん(標準小三年)組が七位入賞(全国大会出場は団体戦のみ対象)する目を見張る活躍をしました。

全国大会は十一月二十一日に愛知県ナゴヤドームで行われ、稲村支部長は「全国の大舞台でそのレベルを実感してくると同時に、これからさらに練習し、優勝を目指したい」と意欲を燃やしています。

雨に負けず力走

九月十九日、第三十二回



オホーツクマラソン大会町体育協会主催)が開かれ、根釧管内を中心に四百六十人が出場。男女年齢別などの一キロからハーフマラソンまでの距離別の計二十種目で健脚を競いました。

あいにくの雨が降り続くコンディションの中、出場選手は一斉に総合体育館前をスタート。沿道の声援を受けながら市街地を力強く駆け抜けました。

ジャイカルの研修員 8人が本町で学ぶ

※「用語解説」参照

ジャイカ・横浜国際センターでは、カンボジアやタンザニアなどの行政官ら八人を研修員として日本に招き、九月七日には本町のあすばるで研修を行いました。

「標準町における水産業を核とした総合的な地域振



興」をテーマに、地域ハサップやエコ・ツーリズムなどの町が取り組んでいる事例を町の担当者から説明。研修員はメモを取りながら真剣に聞き入っていました。タウラさん(ソロモン諸島)は、「いろいろな国を訪問したが、このような小さな町で『地域ハサップ』のシステムを導入して、成功している事例は今までに聞いたことがない」と驚いた様子で、本町の取り組みに感心していました。

★用語解説「ジャイカ(JICA)とは…

正式名称は、「独立行政法人国際協力機構」。『ODA(政府が開発途上国に行う技術協力や資金援助の総称)の事業を実施している組織の一つ。今回本町での研修は、『研修員受入事業』

中学生が英語暗唱大会でスピーチ

第三十回町英語暗唱大会が九月二十六日、あすばるで開かれました。

町教育研究所の主催で、町内の中学生四十三人が出場。課題は、一年生が自己



紹介、二年生は自己紹介と審査員の質問の受け答え、三年生は二人ペアでの会話。出場者は、身振り手振りを交えながら、日ごろの練習の成果を競い合いました。

審査にあたったAETのデリー・ルークさんと標津高校の花輪隆教諭は「みんな発音が良く審査が難しかった。発音は生徒の親が洋楽を聞いている世代で、発音など生徒も聞き慣れているのでは」と講評していました。

馬の絵本を寄贈

標津馬事振興協会山崎勇会長は九月八日、馬事啓蒙普及用の絵本「赤べえ」を、町教育委員会を通じて全小学校・六校に寄贈。

この絵本は、同協会の上部組織・道鞍用馬振興対策協議会で作製。かつて極寒の土地を切り開き、人々に潤いを与えてきた農耕馬の存在をいつまでも受け継いでほしいとの願いが込められています。



一般廃棄物最終処分場などを視察

まちづくり研究開発会議の委員は九月十一日、一般



廃棄物最終処分場などの視察を行いました。

同会議は、町の現状を知ってもらう、将来に向けたまちづくりを考えていただくことを目的に平成十二年に発足。委員は現在三千人。

この日は十人が参加。視察した主な施設は、①一般廃棄物最終処分場(所在・崎無異地区、本町と羅臼町で利用)②リサイクルセンター(所在・中標津町地区、

管内三町で利用

参加者は①で、ごみから

出る汚水処理する最新装置のシステムに感心。②では、容器やビン類の種類の多さにびっくり。分別が徹底されないとその分職員の手間がかかることから、各家庭での分別を徹底する必要性を強く感じ、広報誌などで住民に対し、その周知徹底を呼びかけるべきとの意見が出されました。

「こんなにたくさん獲れたよ！」

標津ふるさと体験塾武山栄道塾長は九月四日、七回目の企画として「イモ掘り体験」を中標津町武佐の農園で行いました。

参加したのは、小学生十二人と父母ら三十二人。広い農園でジャガイモ掘りに挑戦。畑の土を掘り出すと、次から次と出てくるイモに子供たちから大きな歓声が上がリ、中には顔や体に泥をつけながら、イモ堀に夢中になる子供たちも。移動後、文化ホールでイモの塩煮を全員で試食。バ



ターをつけて、みんな食べると「おいしい」と笑顔があふれていました。

武山塾長は、「子供たちの喜んだ顔を見ると、『やっつて良かった』とつくづく思うんです。これからも地道に活動していきたい」と話しています。

大地震想定し 標津漁港で防災訓練



町防災訓練が九月三日、標津漁港で行われ、町内の小中学生や町民のほか、消防団、陸上自衛隊、羅臼海上保安署などの関係機関合わせて約五百人が参加しました。

道の防災ヘリコプターによる吊り上げ移送などが実践しながら行われました。このほかに火災を起こした漁船の消火を想定し、海上保安署の「てしお」や標津救難所の調査船などが一斉に放水を行う訓練も。町では「この訓練を機に、普段から防災意識を持つてほしい」と話しています。

サケのつかみどりに 悪戦苦闘…



「第40回しべつあきあじまつり」が9月26日、サーモンパーク広場で開かれ、町内外から約2万人の人出でにぎわいました。

新鮮な秋サケ激安販売や恒例のイクラ丼1,500食無料大提供では、時間前から長蛇の列ができる人気ぶり。このほかに、イタリア料理界で有名な植竹隆政シェフによる料理ショーも行われ、注目を集めました。さけのつかみどりに競争では、元気なサケに悪戦苦闘(写真)する場面もあり、会場は大いに盛り上がりました。

「安全運転でね」

秋の交通安全運動期間に合わせて、町内のボランティア



イアの防犯組織「レッドシヤドール」と町交通安全指導員が国道244号線沿いで、交通安全を呼びかける街頭啓発を行いました。

レッドシヤドールは九月十九、二十六日に旧標津漁協冷蔵庫前で(写真右)。二十四日には町交通安全指導員が警察の協力のもと、標津駐在所で実施(写真左)。ドライバーに啓発用のパンフなどを手渡し交通安全を呼びかけました。

「ウラップ伝説」の 紙芝居作成

町では、標津町民祭り「水・キラリ」の伝承劇の題材になっている「ウラップ伝説」の紙芝居をこのほど九十部作成。町内の各学校などに配布して、子供たちに祭りへの感心を高めてもらうことにしています。

これは、現在町が進めている「郷土再生に向けた自立プランへの取り組み」に対する町職員からの提案によるもの。郷土の姿を活用した子供たちへのふるさと学習の推進が目的です。

紙芝居の絵は全部で十六枚。「伝説なので昔風にしつつ、子供にも分かりやすい絵を描くように工夫しました」と、絵を担当した川北中学校の教諭・木庭さちさん(写真左)。一カ月半かけて完成させました。

絵一枚一枚の文を担当したのは、伝説の原作者・熊谷田鶴さん(写真右)。「子供たちに祭りの基本となる伝説を知ってもらうことはとても大事なことです。伝説が形として残ったことは、自分としてもうれしいです」と話しています。



平成16年度秋場所 (敬称略)

※年齢は9月20日現在 (敬老の日)

東				西			
横綱	東海林どめ	100	北7西5	横綱	下山フサ	98	北7西5
大関	千葉コト	97	北7西5	大関	戸田チヨ	97	北7西5
関脇	若杉ふで	97	北7西5	関脇	小笠原まつ	96	西山北
小結	岡本はる	96	北7西5	小結	渡邊カセ	96	南2西7
前頭	川村ソノ	96	南4東1	前頭	渡邊義雄	95	桜ヶ丘町
2	境モト	95	古多藤	2	武田昇	95	南7西7
3	若杉松代	94	茶志骨	3	馬場サダ	94	北7西5
4	勝瀬ゆき	94	共栄旭町	4	濱田さく	93	北7西5
5	北村スミ	93	南6西7	5	宮谷ツネ	93	北6西2
6	井南ヨシノ	93	東山北	6	角田みつよ	92	北7西5
7	山崎美智子	92	南5西3	7	小田嶋まさひ	92	共栄旭町
8	佐々木トノ	92	北古多藤	8	新川由衛	92	薫別
9	勝水すて	92	北6西7	9	富山キク	91	南4西7
10	工藤どめ	91	北4東1	10	興ハツ	91	共栄旭町
11	山岸麻子	91	東古多藤	11	戸澤ヨシ	91	北7西5
12	齋藤正一郎	91	北7西5	12	奥村ハツヨ	91	伊茶仁
13	天童倉	91	北6西7	13	佐々木正一	90	東浜町
14	杉本政秋	90	西古多藤	14	福田シゲ	90	寿町
15	岡部イチヨ	90	北5西2	15	西村トモ	90	南3西2

標津町 長寿番付表



東前頭3枚目 (94歳)
若杉松代さん

◇長生きの秘けつは…
孫やひ孫に囲まれて、にぎやかでいつも笑っていることかな。みんなに感謝しています。
◇若い人にひと言…
人への思いやりを大事にしてほしいね。「ありがたい」という気持ちをいつも忘れずに。

会場の声

◇長生きの秘けつは…
若い時から酒もタバコも飲まないことかな。常にいいことだけを考えるようにしています。
◇若い人にひと言…
とにかく人に迷惑をかけること。友達を大切に。酒とタバコは飲み過ぎないように。



西前頭8枚目 (92歳)
新川由衛さん



高橋良夫さん

(南6西2・会社員)

YOSHIO TAKAHASHI

「Jリーグ選手を 育てるのが夢なんです」

「上げろ!」「抜かれるな!」「もつと声をだせ!」。町営

スケートリンク内の芝生を使って練習に打ち込む小学生に大きな声で指示を出しているのは、標津サッカースクールのコーチ高橋さん(47歳)。

釧路市出身の高橋さんは、中学一年からサッカーを始め、同市内の中学、高校で、サッカー部で活躍。中学三年の時には、全道大会でレギュラーで出場し三位に。高校でも全道大会に出場。高校の釧



路選抜に選ばれるほどの選手。現在も釧路の社会人チームに所属し、現役選手として活躍しているほど、サッカーに情熱を燃やしている高橋さん。「当時、自分が釧路からこ

こに引越してきた時、小学生数人が『サッカーをやりたい』という声を聞いたんです。『何とか子供たちのためにサッカー少年団を立ち上げてやりたい』。そんな思いから平成十二年に標津サッカースクールを設立。設立当時は、五人の部員が今では二十七人にも。練習は町営リンクの内側で手作りのゴールネットを使うなど決して恵まれた環境とは言えませんが、今年も少年団の各種大会で優勝、準優勝するなど実力をつけています。指導にあたっては高橋さんは、子供たちを前によく話す言葉があります。「どんなに下手でも、一生懸命やる。そんな選手が一番好きなんだ。一生懸命やって、できないことは仕方ない。できるのに手を抜くことは一番悪いこと」。これが指導者としての高橋さんの信念だと言います。日本のトップ選手を夢見ていた高橋さん。「この町からJリーグ選手を育てるのが今の自分の夢ですね」。こんな思いを胸に、今日も子供たちの練習に熱い視線を送り続けます。

★今月は川北中学校に勤務している神久妙子さん(川北桜ヶ丘町・25歳)にインタビュー。

出身地、前任地は。

出身地は群馬県。前任地も同じ。今年四月から川北中学校の教諭として勤務。

町の第一印象は。

自然が豊かで、とにかく「広い」という印象。大地

を受けました。群馬ではそういうことは、ありませんでしたからね。

学校では音楽を教えているのですが。

生徒はとても純粋で、素直です。生徒には授業を通じて音楽の楽しさを伝えてあげたいですね。クラスで合唱した時の喜びなど、みんなので一つのことをする楽

新町民 インタビュー

⑤ 神久妙子さん



「地域の人々が地域を
愛している町」

も空も広いですね。住んで見ての印象

しさを。町民の皆さんにひと

は。地域の人々が自分の地域を愛している、という町の印象を受けています。「水・キラリ」や川北神社祭などを見ていて、子供から大人まで多くの人々が参加。みんな楽しんで、盛り上っているのを見て強い印象

言。北海道は憧れの地。自然豊かな所で教育者として働きたいという願望があり、これが実現しました。この町で頑張りますので、よろしくお願ひします。

My Dream vol.30
ぼくの夢



こまつ あきひろ
小松晃大くん
(古多小4年)

「テニスプレイヤーと波田陽区」

ぼくの夢はテニスプレイヤーになることです。どうしてかというと、初めてテニスをやったときに楽しくて、玉をラケットで打つ「パコーン」という音がカッコいいからです。だから高校でテニス部に入って、いっぱい練習して強くなります。カーブとかいろいろ自分でかせいだお金をお笑い芸人のために使いたいです。金曜日に行っている「笑いの金メダル」という番組は、金メダルを三つ集めると三百万円ゲットできるお笑い番組です。ぼくも自分でかせいだお金で賞金を出してみたいと思います。そして、波田陽区さんにぼくの名前をネタにして

ろな技で相手に勝って優勝して金メダルを取りたいです。今はテニスを全然やっていませんが、今やったら全然だめだと思いません。でも、へたなところから始めて、強くなっていきたいです。

もらいたいです。ぼくが大人になっても、波田陽区さんにはまだギター侍をやめてほしくないです。もしそういうように夢がかなうとおもしろいだらうなあとと思います。

◆次号は、川北小学校の児童の「夢」を紹介します。

「練習して友達とバンドをやりたい」

若さでアタック

おく やみつ ゆき
奥谷光行さん
(南8西1・18歳)



「自分からもっとと積極的に声を出して、また給油に来てもらえるように頑張りたいです」
趣味は、ギターとドラライブ。「友達とバンドをやりたい」と思ってるんですよ。まだ人に聞かせるまでにはいかなければ、練習してもっとうまくなりたいです」

津が好きなので、地元で働きたかったんです」と話す奥谷さん。高校卒業後、東部スタンプード株に勤務し、給油が主な仕事。

初めはガソリンやハイオクなどの種類を間違つて給油するなどの失敗も。「今は、まずあいさつ。そして、お客さんを長く待たせないような対応を心がけています」

達者なじいちゃんばあちゃん

「気持ちはまだ70歳だよ」

Ji-chan Ba-chan

かしわ やさだ お
柏谷定雄さん
(川北・90歳)



「おかげさまでまだ腰が曲がっていないので、百歳までは歩き続けたいです」

「おかげさまでまだ腰が曲がっていないので、百歳までは歩き続けたいです」

柏谷さんの健康の秘けつは、散歩すること。十五年ほど前から、毎日約五〜六キロを歩いているそう。「歩いたり走ったりするのが昔から好きなんだよ。年寄りにはあまり寝ていたらだめ。家にいて横になってテレビばかり見てたら体が悪くなってしまうからね」。医者からも、体は健康そのものとの太鼓判を押されているそう。

12月1日から

「院外処方せん」を発行

標津病院では、十二月一日から「院外処方せん」を発行いたします。

を受け取っていただくことができます。

「一月号」でお知らせいたします。

「院外処方せん」とは、病院から交付される処方せんを患者さんが「保険薬局」へくすり屋さんへ持参し、お薬

十二月一日以降の当院での受付・受診・処方せんの発行などは、左図のとおりになります。

詳しくは、「広報しべつ」事務室(☎2-2111・担当/村山)までお問い合わせください。

《受付・受診・処方せんの流れ》



インフルエンザ予防接種を実施します

■日時・場所・時間・対象

①満65歳以上の方・満60歳～65歳未満で、心臓や腎臓、呼吸器系に重い病気のある方

日 時	場 所	受付・実施時間	接種料金
10月19日(火)	川北生涯学習センター	午前9時30分～午後3時	1,050円 ※生活保護世帯の方は無料
10月20日(水)～10月22日(金)	保健福祉センター「ひまわり」	午前9時～午後3時	

②満4歳～65歳未満の方

日 時	場 所	受付・実施時間	接種料金
10月25日～11月29日の 毎週月・水・金曜日	標津病院	午後1時30分 ～午後2時30分	・満4歳～小学生(2回接種) 4,500円 ・小学生以上～満65歳未満 3,500円

★申込み・お問い合わせは…

- ・①に該当する方…10月13日(水)までに、保健福祉センター「ひまわり」(担当/谷内・☎2-1515)
 - ・②に該当する方…10月29日(金)までに、標津病院(担当/村山・☎2-2111)
- 保健福祉センター「ひまわり」・標津病院—

毎週土曜日は「魚の日」です!!



漁業者自らの手で前浜の安全・安心な地場産品を格安で販売する「標津魚の日」が、今年も9月から本格的に始まりました。

町サケ・ホタテ消費流通対策協議会の主催で、12月下旬まで毎週土曜日の正午から午後1時まで、標津漁協卸売市場で行われます。

9、10月はサケをメインに、鮮魚、水産加工品などを販売。11月中旬ごろからは、ホタテも販売されます。皆さんぜひお買い求めください。

★事務局／標津漁協産地加工センター・☎2-1188

10月の健康相談日程

●乳幼児相談

22日(金)

(9時～10時・13時30分～14時30分/ひまわり)

※午前の部～13ヵ月児 午後の部～4・7・10ヵ月児対象

●2歳児相談

22日(金)

(9時～10時/ひまわり)

※その他の健診・相談は個人通知します。

★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」(☎2-1515)まで。

町長の動静

(8月21日～9月20日)

【8月23日】

自衛隊転入隊員歓迎会

【8月25日】

道議会水産林務委員会サーモンパーク視察対応、道議会農政委員会来管に伴う懇談会(中標津町)

【8月26日】

北海道町村会常任理事会ほか(中標津町)

【8月27日】

北海道町村会常任理事町内視察対応

【9月2日】

小泉内閣総理大臣北方領土視察対応(根室市)

【9月3日】

標津町総合防災訓練

【9月8日】

峰崎参議院議員来庁対応

【9月9日～10日】

第3回標津町議会定例会

【9月11日】

自民党堀内総務会長を囲む懇談会(中標津町)

【9月15日～16日】

参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会来管に伴う懇談会

【9月18日】

はまなす苑敬老会

(以上主なもの)

「在宅介護支援センター」は、 介護の総合相談窓口です

在宅介護支援センターは、家庭での日常生活に支障のあるおおむね六十五歳以上の方や、その介護にあたっている家族の方々を支援するため、専門職員による介護相談や各種保健福祉サービス内容の紹介、その利用方法などに関する相談を受けています。お気軽にご利用ください。

なお、介護保険で受けられるサービスは、次のとおりとなります。

■在宅サービス

▽訪問介護：
ホームヘルパーによる入浴

や食事など、身の回りの世話をします。

▽訪問入浴介護：

巡回入浴車による入浴介助をします。

▽訪問看護：

看護師などによる医療上の世話や診療の補助をします。

▽通所介護：

デイサービスに通って、入浴や食事の提供など日常生活の世話、機能訓練を受けられます。

※その他、福祉用具貸与・短期入所生活介護、福祉用具購入、住宅改修などのサービスが受けられます。

■施設サービス

(はまなす苑などに入所)

▽介護老人福祉施設

介護など日常生活上の世話や機能訓練、その他必要な世話をします。

▽介護老人保健施設

病状が安定した人が機能訓練を中心に医療ケアや介護、日常生活の世話をします。

▽介護療養型医療施設：

療養型病床群などに長期療養が必要な高齢者が入院にて、介護などの世話、機能訓練、その他必要な医療をします。

★お問い合わせは、同センター(保健福祉センター)内担当/坂口、和田、本間 ☎2-11588)まで。

スポーツ

☆10月のスポーツ☆

- 3日(日)
ふれあいスポーツデー
〔9時～総合体育館ほか〕
- 14日～28日の毎週火・木曜日
遊びの玉手箱
〔木曜日/19時～川北体育館〕
- 13日～29日の毎週水・金曜日
スマイルハッピー教室
〔10時～川北体育館〕
- 10日(日)
第20回団長杯オホーツク卓球トーナメント
〔9時～総合体育館〕
第8回少林寺拳法連盟支部大会
〔9時～鳩ヶ丘体育館〕
町長杯球場納め野球大会
〔8時30分～町営球場〕
- 16日(土)
町ソフトテニス大会
〔9時～高校コート〕
- 19日(木)・28日(木)
ファミリーバドミントン教室
〔火曜日/19時～総合体育館〕
〔木曜日/19時～川北体育館〕
- 30日(土)
管内スポーツ講習会
〔10時～ひまわり〕
- 31日(日)
管内ソフトバレーボール大会
〔9時～総合体育館〕
町民バドミントン大会
〔9時～川北体育館〕

BOOK ROOM



「水の健康学」

藤田紘一郎著 新潮社

体重の60%は水。毎日2.5リットル身体に取り入れ、同じだけ排出される水。この本は、水の組成から働き、水による病気の予防までわかりやすく解説しています。水・キラリの町標津の水がどうしておいしいかのヒントがあるかも知れません。

「故事成句でたどる楽しい中国史」

井波律子著 岩波書店

普段何気なく使っている故事成句。本書は「顰みに做う」「屍に鞭うつ」「酒は百薬の長」「自家薬籠中の物」などをキーワードに中国の歴史をたどっています。この本を読むと少しだけ知ったかぶりができるのです。



今月の特集：10月はとうぜん読書の秋

秋の夜長はミステリー小説で決まりです。長い夜は寝ないで過ごしましょう。ということで今月はおもしろすぎて眠れないミステリー特集です。ハラハラドキドキをお楽しみ下さい。

《新着図書紹介》

- ・「知っておきたい【この一句】」 野元菊雄 監修 梧桐書院
 薫まどか著 PHP
- ・「出稼ぎ日記」 鈴木郁哉著 東洋出版
- ・「トリアングル」 俵万智著 中央公論新社
- ・「オヤジの遺言」 早坂茂三著 集英社
- ・「オムツをはいたママ」 安藤和津著 グラフ社
- ・「随論 日本人の精神」 小田実著 筑摩書房
- ・「仕事に必要なのは英語の前に敬語でしょ!」

★図書館 ☎ 2-2074

10月のごみ収集日

一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです) (有料)	可燃ごみ	不燃ごみ 粗大ごみ	資源ごみ 空き缶・びん・ペット ボトル・トレー・ 新聞・雑誌	資源ごみ 容器包装(紙) 容器包装(プラ) 黒バック・段ボール
川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	水・土	2日(土) 9日(土) 23日(土)	6日(水) 20日(水)	14日(水) 27日(水)
新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	月・木	7日(木) 21日(木)	4日(月) 18日(月)	12日(火) 25日(月)
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘 町・桜木町・住吉町・東浜町	火・金	1日(金) 8日(金) 22日(金)	5日(火) 19日(火)	13日(火) 26日(火)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

し尿

し尿の汲み取りの 申込みは忘れずに

11月のし尿の汲み取り実施地域は次のとおりです。汲み取りを希望される方は忘れずにお申込みください。

■汲み取り実施地域

伊茶仁、忠類、浜古多糠、薫別、崎無異

■申込期限 10月25日(月)

★申込み・お問い合わせは、住民課(担当：小野瀬、吉田)まで。

今月のおすすめ

新刊

戸籍の窓口から

(8月11日～9月10日届出分)

■ご結婚おめでとう

近藤 圭吾さん・榎澤 聡子さん(栄 町)

■お誕生おめでとう

(保護者)

宮城 泰生くん(南川北) 普 泰・照 子
 伊藤 愛莉ちゃん(共栄旭町) 正 美・恵 幸
 石黒 菜那くん(若草町) 峰 孝・香緒莉
 久保 日南子ちゃん(共栄旭町) 真 悟・由加子

■おくやみ申し上げます

林 勇さん(共栄旭町) 85歳
 高橋 一能さん(桜ヶ丘町) 63歳
 佐々木 貢さん(忠 類) 36歳
 近藤 忠 男さん(栄 町) 96歳
 佐々木 孝さん(桜木町) 55歳
 森 脇 修 司さん(緑 町) 64歳
 柴田 薫さん(川上町) 25歳
 鈴木 たかねさん(弥栄町) 96歳

寄付・寄贈

ありがとうございました

●北方領土返還運動推進資金として 町に――

・念法眞教総本山金剛寺

●体育文化振興基金として町に――

・佐々木喜一郎さん

●町社会福祉協議会に――

・林勝己さん ・大須賀セツ子さん
 ・近藤文司さん ・下西公平さん
 ・聖友標津支所 ・鈴木章さん

●はまなす苑に――

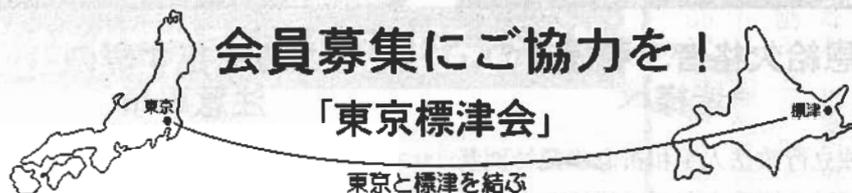
・鈴木章さん ・木庭玲子さん

●標津病院に――

・南光雄さん ・大角ミヨさん
 ・故高橋一能さん

●図書館に――

・河野實枝子さん ・鈴木春彦さん
 ・作田逸啓さん(別海町)
 ・作田苑胡さん(別海町)



会員募集にご協力を!

「東京標津会」

東京と標津を結ぶ

「ふるさとを思う」

遠くふるさとを離れて、折にふれ思い出されるのは、あの男性的な千島連山の勇姿と通学の道すがら耳にし目に触れた風の音、小鳥のさえずり、小川のせせらぎ、名も知らぬ草花、そして汚れなき純白の雪。四季折々の自然の姿にはやさしさと厳しさがありました。私達はこんな素晴らしいふるさとを共有できる仲間なのです。

人はそれぞれ歳月の重さに異いはあっても、都会の喧噪の中でふと立ち止まり、新たな前進の糧となるように思い出を訪ね続けたいものです(ふるさとの発展を願いながら)。

私ども東京標津会を継続運営する立場にある者として役員一同今後の会の在り方、方向づけや存続維持していく上で内容の在り方など日々模索、手探りの中にも前向きに努力することを心がけています。

皆様のご親戚、ご友人・知人の方々にぜひ東京標津会へのご入会をお奨めください。心からお待ちしております。

東京標津会役員一同

■入会申込み・お問い合わせ

東京標津会代表代行・鈴木清三(日本ユニブレーション(株)内・☎03-3711-0081)または役場総務課(担当:橘、星)まで。

「川北温泉」が利用できます

川北温泉に通じる林道について、昨冬からのがけ崩れのため通行止めが続いていましたが、根釧東部森林管理署による復旧工事が終了し、9月19日から通行が可能となりました。

このことに伴い、川北温泉愛

好会が温泉施設のオープンに向けた開所作業を行い、川北温泉も同日から利用可能となりました。

なお、愛好会による温泉施設の管理は10月末までの予定です。

★お問い合わせは、商工観光課(担当:境、森)まで。

福祉

恩給欠格者、引揚者の皆様へ

独立行政法人平和祈念事業特別基金では、旧軍人などで恩給などを受けていない恩給欠格者の方、終戦に伴い本邦以外の地域から引き揚げて来られた方に対して、内閣総理大臣の書状などを贈呈しています。

★お問い合わせは、福祉課（担当：蟬山、上田）まで。

相談

行政相談員は、皆さんと行政のパイプ役です

～10月18日～24日は

「行政相談週間」です～

行政相談員とは、行政の仕事で納得できないことまたはこのように改善したらどうかなどの意見や要望をお受けし、今後の行政運営に反映させていただくものです。お気軽にご相談ください。

■私のまちの行政相談員

川畑二郎さん（北1西1・☎2-2087）
※釧路行政評価分室でも相談を受け付けています。

・同分室（☎0154-23-7136）

・行政苦情110番（☎0570-090100）

—釧路行政評価分室—

「女性のためのなんでも相談所」にご相談を

釧路地方法務局及び根室人権擁護委員協議会では、暴力やセクハラなど、女性が被害者となる人権侵害の相談を受け付けます。

■日時 10月26日(火)

午後1時～午後4時

■場所 別海町中央公民館

■相談員 同協議会の女性委員

—同支局・同協議会—

環境衛生

ごみを出す際の注意事項

スプレー缶やライターなどをそのまま捨てると、収集や処理作業時に発火・破裂する恐れがありますので、次のことにご注意ください。

■使い切ってから捨ててください。

■スプレー缶は穴をあけて「燃やせないごみ」として出してください。穴を空けるときは、風通しのいい場所で行ってください。

★お問い合わせは、住民課（担当：小野瀬、吉田）まで。

税

「町道民税」(第2期)の納期は11月1日です

今月は町道民税の第2期の納期となります。

納入期限は11月1日(月)です。必ず納期内に納入されますようお願いいたします。

★お問い合わせは、税務課(担当：岡部、斉藤)まで。

10月は道税の納税推進強調月間

根室支庁では、10月を納税推進強調月間として、自動車税に重点をおいて滞納額の削減に努めます。

皆さんの暮らしを支える道税の納税にご協力ください。

～休日・夜間の納税窓口を開設～

■開設日時

▷休日：10月24日(日)

午前9時～午後5時

▷夜間：10月28日(木)

～午後9時

■場所 根室支庁税務課

★相談・お問い合わせは、根室支庁税務課（☎0153-23-5466）まで。

郵便局

ゆうパックが「サイズ制料金」で簡単・便利に

郵便局では、10月1日から、ゆうパックに「サイズ制料金」を導入。

7種類の箱のサイズごとに料金を分かりやすく設定（サイズごとの計量は不要となります）。また、損害賠償限度額も5万円から30万円にアップしました。

便利になったゆうパックをぜひご利用ください。

★お問い合わせは、お近くの郵便局まで。

夜間・休日収納窓口をご利用ください

町では、10月から12月まで、次のとおり「夜間・休日収納窓口」を開設します。

日中、仕事が忙しくなかなか納めに来ることができない方などは大変便利です。ご利用をお待ちしています。

■今月の開設日程は…

▷夜間：10月29日(金)

午後5時15分～午後8時

▷休日：10月31日(日)

午前9時～午後5時

■納入場所

役場出納室（正面玄関を入って左側奥）

※窓口では、町税（町道民税、固定資産税、軽自動車税）、国民健康保険税、公営住宅使用料、上下水道使用料を納入することができます。

※11月下旬と12月下旬にも開設を予定していますのでご利用ください。

★お問い合わせは、税務課・福祉課・建設課・上下水道課まで。

みんなで加入し、みんなで支える“国民年金”

国民年金は、
あなたが
主人公です

年金相談 Q & A

Q 年金手帳を無くしてしまったのですが…。

A 再交付手続きが必要です。1号被保険者の方は役場国民年金担当で（印鑑が必要です）。3号被保険者の方は、配偶者の勤務先で手続きをしてください。
※厚生年金加入中の方は、事業所で再交付申請を。共済年金に加入中の方は年金手帳はありません。

◇

Q 年金請求書はどこへ提出したらいいのですか。

A 1号被保険者期間のみの方は役場国民年金担当へ。3号被保険者期間のある方、厚生年金の請求は釧路社会保険事務所へ。共済年金は各共済年金組合へ請求してください。

なお、受給権があって65歳までに何の年金も受給されていない方には、誕生日の約1カ月前に歳定請求のご案内をしています。

★相談・問い合わせは、お気軽に福祉課（国民年金担当：杉本）まで。

Q 私は保険料を25年間納め、年金を受け取る資格ができました。もう納めなくてもいいのですか。

A 60歳になるまで納めなければなりません。老齢基礎年金は、60歳になるまでの全期間保険料を納めた場合に満額の年金が受けられます。

全期間収めた満額年金額は79万4,500円。25年間では49万6,500円となります。

社会保険事務所相談開設日

▷日時 10月19日(火)・20日(水)
19日/午後1時～午後5時
20日/午前9時～午前11時30分
▷場所 中標津経済センター

※本人や配偶者の年金手帳、年金記号番号、加入期間、納付記録などをご確認のうえお越しください。

労働

守りましょう 「北海道最低賃金」

■最低賃金額 638円（時間額）

■効力発効日 平成16年10月1日

※道内において事業を営む全産業の使用者及びその者に使用者される労働者（パートタイマー、臨時、アルバイトなど含む）に適用されます。

—釧路労働基準監督署—

防災・交通

「秋の火災予防運動」 実施します

暖房機器(具)などにより火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、町民の防火意識を高め火災の発生を防止するため、次のとおり秋の火災予防運動を実施します。

■期間 10月15日～10月31日

～家庭での防火の心得～

- ・暖房機器(具)は点検整備を十分に行ってから使用しましょう。
- ・就寝前には必ず火の元の確認をしましょう。
- ・家庭には消火器を備えておきましょう。

—標津消防署—

10月1日～7日は 「全国道路標識週間」

「全国道路標識週間」は、道路標識の果たす役割に理解していただき、関心を高めていただくことを目的とした週間です。

道路標識の設置状況や表示内容などについてお気づきの点がありましたらお知らせください。

★お問い合わせは、釧路開発建設部（☎0154-24-7000）または釧路土木現業所（☎0154-23-6111）まで。

募集

「遊び方教室」 参加親子募集

育児の大切さと楽しさ、子供への関わり方について遊びを通して学び、幼児を持つ家庭への支援を行う「遊び方教室」の参加親子を募集しています。

■日時 10月27日から2カ月間
(毎週水曜日)

■対象 1～5歳までの子供と親

■定員 10組程度

■申込み 10月20日(水)

★申込みは、地域子育て支援センター（双葉保育園内☎2-2404）まで。

職業に必要な技能・技術を 身につけてみませんか

■募集科目

- ・電気工学科（定員20名）
- ・建築技術科（定員20名）
- ・自動車整備科（定員20名）

■対象

高卒者以上（新規及び過年度）、離転職者

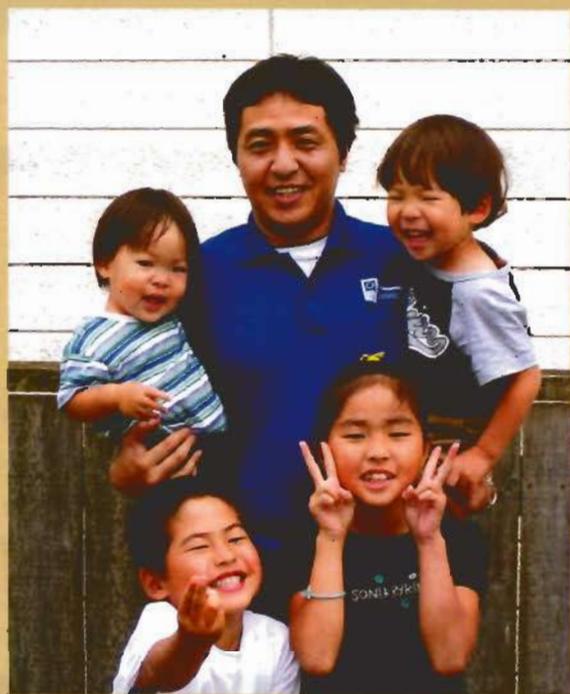
■就学期間 2年間

■募集期間 11月1日～20日

★申込み・お問い合わせは、道立釧路高等技術専門学院（☎0154-57-8011）まで。

まちの声...

218



白土 全人さん Yoshihito Shirato
北5西4 (前標津電気商会勤務)

「子育てをしながら感じたこと」

私

は七年前に川崎市から標津に帰ってきました。川崎市には十三年間住み、その間に結婚し子供も生まれましたが、都会では子供を育てたくない(育てる自信が無い)と考えていましたので、長女が一歳になるころに標津に戻ってきました。今では4人の子供を授かることができましたので、子育てをしながら感じたことを書いていきたいと思います。

まず、帰って来てゼロ歳児を受け入れてくれる保育園を探しました。標津ではありませんでしたが、中標津の私立保育園が見つかり預けることができました。都会では満員で入れないことも多いので助かりました。でも、中標津の一日二往復は、金銭面でも送り迎えの時間の面でも大変でした。

翌年四月に、標津の保育園に預けてから驚いたのが、親が送り迎えをしなくてはいけないことでした。確かに三ヶ月前とは車の通行量も違うの

でしようね。そんな中でも散歩に連れて行ったりしてくれている保育士さんは大変そうです。去年、長女が小学校に入学した時には、児童の少ないのに驚きました。三十年前の半分くらいになっていました。少子化が進んでいるとは聞いていましたが、実感した瞬間でした。そして、入学式で焼いたのが、国歌斉唱の時に、校長先生が立って歌っているのに、児童は起立もせず、歌も歌わない姿。全員座るか、全員立つかしないと非常に不自然だと思いました。そして、通学が始まると雨の日とかに車で通学している子供がいるのに、時代の変化を実感しました。

私には四人も子供がいるので、子供をとおして町を見ていくことが多いような気がします。何とか、子供が育ちやすい、育てやすい町にして欲しい、そして、していけたらと思います。

▽次の「まちの声」は、中野能彰さん(北4西3)です。

☆標津町民憲章☆

(昭和46年11月3日制定)

- ◇健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。
- ◇自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。
- ◇たがいに関わり合い暖かい社会をつくりましょう。
- ◇心を豊かにし文化を高めましょう。
- ◇子どもの夢を育て平和な町をつくりましょう。

編集のまど

▽平成六年十月四日午後十時二十三分、マグニチュード八・一の巨大地震がまちを直撃。あの東方沖地震からちょうど十年が経過、当時の大きな揺れの恐怖は、今でも忘れられることはありません。▽十月三十一日は「標津町・防災の日」。災害への備えと万一のと看速やかに対応できるように、家庭内での役割分担や避難場所の確認、非常持出品など今一度防災対策について話し合っておきましょう。「天災は忘れられたころにやってくる！」

▽九月四日、標津ふるさと体験塾主催の「イモ掘り体験」に同行。地元の子供たちに体験を通して故郷の素晴らしさを知ってもらうことが目的。子供たちも楽しんでいましたが、なんと言っても、親も子供と一緒に一生懸命になって楽しんでるのがとても印象的でした。▽今年の体験も今月を含めてあと二回、子供たちにとって、今後とても貴重な体験となっていくことを期待しています。

人のうごき

・人口	6,225人 (- 3)
・男	3,030人 (- 3)
・女	3,195人 (± 0)
・世帯数	2,367世帯 (+ 8)

◇平成16年9月1日現在
()は前月比

町内の交通事故

・人身事故	2件 (7)
・負傷者	2人 (12)
・死亡者	0人 (0)
・物損事故	16件 (116)

◇平成16年8月1日～8月31日まで
()は累計

11月の運転免許更新時講習会

優良運転者で、更新手続きを終了した方のみ受講できます。

■日時 11月9日(火)13時30分～

■場所 あすばる

★お問い合わせは、住民課まで。